

号外 医療安全管理室ニュース

2023年5月19日 あおもり協立病院 医療安全管理室

いつもインシデント入力して頂き有難うございます。

「CT検査時に設定変更が必要な

ペースメーカーがあります」



上記の患者様で、CT検査誘導時点で気がついた事例が2日連続で発生しました。

除細動機能付きのペースメーカー（CRT-D）や植え込み型除細動器（ICD）は、
除細動機能の誤作動を防ぐために、CT検査の前に除細動機能をOFFにする
設定変更が必要になります

機種によっては、設定変更するための機器が院内に無く、準備に日数を要します。

CT検査オーダー時には、ペースメーカーの種類を確認の上、CE科へ連絡してください。手帳を見ても、判断できない場合も多いと思います。その場合も、CE科へお問い合わせ下さい。

患者様にご迷惑をおかけすることがないように、カルテ上でのアラート表示や、問診の運用変更などのシステム改善を早急に行っております。

システム改善までは、皆様の意識と情報共有が大きなカギとなってきます

ご協力の程宜しく申し上げます

次ページの資料もご活用ください

- 植え込みされている機器やメーカーにより手帳は異なります。手帳の表紙には「機器会社名」や「機種（ペースメーカー、ICDなど）」が記載されています。
- 必ず手帳を確認し必要時はCEへ連絡し設定変更後、CT撮像となります。
- 設定変更が必要なものは下記を参考にしてください。

手帳例



一般的なペースメーカー
 ※基本的に設定変更の必要はないが、SJM社（セント・ジュード・メディカル社）またはアポット社のレートレスポンズ機能ONの場合設定変更必要
 例DDDR、VVIR等



リードレス（リードが無い）ペースメーカー
 ※設定変更不要なし



両心室ペースメーカー
 ※設定変更不要なし



植え込み型除細動器
 ※CT検査時要設定変更



両心室ペースメーカー機能付き
 植え込み型除細動器
 ※CT検査時要設定変更